

2020年度事業報告

I. 総括

2020年度においては新型コロナウイルスの大流行により、経済・社会生活そのものがかつてないほどの変貌を強いられ、大学スポーツも大きな影響を受けることになった一年でありました。このような環境の下で、本協会としては予定していた事業の実施時期や実施形態の変更を適宜行うとともに、コロナ禍においてもスポーツを存続させることを目的に、運動部学生や大学・競技団体に対する支援プログラムを新たに実行して参りました。

結果として、年度当初に設定した会員数目標は未達成であったものの、パートナーとの共同事業の進展や学生・大学・競技団体支援プログラムを通じて、UNIVASに対する認識や存在価値の浸透は図られてきた一年でありました。

Ⅱ. 新型コロナウイルスの影響と対応

事務局活動

会員活動
サポート

運動部学生を
支援する
新たな
プログラム

主催イベントの延期・縮小

テレワークの実践

運動部活動への
会長指針表明

・会員へ3回発出

官公庁通達の
一元配信

・会員へ29回配信

大学・学連の状態
調査と結果の共有

・定点調査5回

スポーツ活動再開
ガイドライン策定

・6/18初版
・9/25、2/19改訂

(1)アスリートに元気を！

①動画共有サービス開始

②#スポーツを止めるな
2020

③特別夏期講座
「夢をチカラに！」

(2)活動再開を支援

①体温体調管理システム
の無償提供
ONE TAP SPORTS

(3)大会開催の支援

①スポーツセーフティ
ネット制度

②無観客試合への
広報支援

③感染対策備品の供給

④団体横断で補助金申請



1. デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

<p>(1) UNIVAS 研修会の開催</p>	<p>▶コロナ影響を加味、オンライン形式で開催。 ①管理者セミナー：2回開催・参加者71団体88名 ②指導者セミナー：5回開催・参加者53団体60名</p>
<p>(2) 入学前教育 プログラムの提供</p>	<p>▶スポーツ推薦入学予定者等を対象とした入学前の教育プログラムを2軸で展開。 ①入学準備プログラム：動画をオフィシャルサイトに掲載 ②入学前教育プログラム：3教科5教材・2テスト・ハンドブックを開発 9モデル大学636人が受講・3大学59人が有償受講</p>
<p>(3) キャリア形成支援 プログラムの提供</p>	<p>▶在学生のキャリア形成をサポートするプログラムをマイナビと共同展開。 ①デュアルキャリアプログラム ：オンラインセミナー444人・キャリア適性診断97人・キャリアアドバイザー相談受付277人 ②リーダーズキャンプ：4回開催・参加者56名 ③GMGミーティング：秋7回冬8回開催・参加者211名 ④就職セミナー：2回開催・参加者860名</p>
<p>(4) 学業基準導入 の検証</p>	<p>▶初年度に続き、学業基準案の実証検証を実施。 ・短期大学における実証検証 ・学業基準を導入大学から、学業基準未達成学生へのフォローに関する情報の収集</p>

2. 安全安心事業

<p>(1)UNIVAS相談窓口 の設置</p>	<p>▶スポーツ活動におけるハラスメント等の相談窓口をオフィシャルサイトに掲載。 :相談受付14件</p>
<p>(2)安全安心対策 の助成</p>	<p>▶試合や大会の現場に医療従事者等の配置を助成する事業を展開。 :配置実施案件19件・配置費用5,083千円</p>
<p>(3)安全安心ガイドライ ンの啓蒙活動</p>	<p>▶安全安心ガイドラインの普及に向けて「オンラインフォーラム」を開催。 :12/11・視聴者301人</p>
<p>(4)事故怪我事例 の研究</p>	<p>▶保険データを分析し、怪我発生の実態分析を行い、冊子を発刊した。 :「保険データに見る大学スポーツ事故の傾向」13,000部</p>

3. 事業企画関連事業

<p>(1) 競技横断型 大学対抗戦 UNIVAS CUPの開催</p>	<p>➢「UNIVAS CUP 2020-21」として競技横断型大学対抗戦を開催。 ①コロナ影響による会期遅延: 約3か月遅れ、9/15～3/9までの期間にて開催 ②コロナ影響による指定大会減少: 中止2競技により、21競技25大会にて開催 中止競技(野球・ハンドボール・ソフトテニス・柔道・ゴルフ・なぎなた・空手・ボクシング・テコンドー・フライングディスク・オリエンテーリング(リレー・ミドル部門)・グライダー) ■結果、指定大会参加総大学:122大学 (うち、ポイント獲得は12大学)</p>
<p>(2) 試合動画の配信</p>	<p>➢UNIVAS CUPに併せ、試合動画配信を強化。 ①スポーツ庁補助金も受給、コロナ対応無観客試合を盛り上げるライブ配信を拡大。 ②指定大会のみならず、地方大会配信にて試合数を拡大。(東京六大学・東都大学野球) ■結果、配信試合数:1,528試合(前年比303%) ＜ハイライト配信1,528試合(内ライブ1,005試合)＞ ・動画再生回数:1,001,861回 (前年比480%)</p>
<p>(3)UNIVAS AWARDS</p>	<p>➢UNIVAS理念に叶った活動を行った個人と組織団体の表彰を行うUNIVAS AWARDSを開催。 ①表彰13コースを設定(個人8コース・団体5コース) ②表彰式はコロナ影響をうけてオンライン開催とした。3/29) ■結果、応募団体数39(35大学・4競技団体)・応募総数106件。 表彰は、最優秀賞13、優秀賞42、入賞51件。</p>



4. 会員プラットフォームの提供事業

▶ 運動部学生を登録してデータベースとし、運動部・大学や競技団体が学生を管理できるようにするプラットフォームを開発、学生や運動部、大学や競技団体の登録を開始した。

(1) My UNIVAS の登録と利用促進	・会員組織に所属する運動部学生のプロフィールを登録してデータベースを形成。登録した学生には様々なオンラインサービスを提供。 ・2020/7/27リリース・登録2,443人
(2) Our UNIVAS の登録と利用促進	・組織登録を基に、運動部学生を管理できるプラットフォームとして、運動部・大学・競技団体に利用を開放。 ・2020/7/27リリース・大学管理者登録 146大学
(3) 登録学生向け オンラインサービス提供	【デュアルキャリアプログラム】 ・オンラインセミナー、適性診断テスト、キャリア相談が可能 【特別講座】 ・一流アスリートの体験談、アーカイブの視聴も可能 【フォトギャラリー】 ・UNIVAS CUP指定大会公式フォトのダウンロードが可能 【学内研修会の手引き】 ・管理者向けに手引書を公開

5. クローズアップUNIVAS活動の推進事業

<p>(1)オフィシャルサイトのリニューアル</p>	<p>▶従来はコーポレート情報と動画配信主体のサイト構成であったが、8/12に事業全体が俯瞰できるような構成に刷新した。 月平均アクセス数: 改変前 21,684 → 改変後 80,033 月平均PV数: 改変前 57,738 view → 改変後 279,183 view</p>
<p>(2)SNSプロモーションの拡大</p>	<p>▶Instagramオフィシャルアカウントの開設に加え、Twitterのコンテンツ更新を専門会社に委託し、タイムリーな情報発信を大学生へ展開し、フォロワーの拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none">・Twitter 5,583フォロワー・月平均tweet41回・Instagram 2,810フォロワー・月平均投稿12回

IV. 事業を支える4施策

1. 新たなパートナー 開拓の推進	➤ 新型コロナウイルス感染拡大により経済活動、社会活動が麻痺状態であったこともあり、新たなパートナー企業の開拓には至っていない。既存パートナー企業4社に対しては、企画会議を週次定例開催するなど密な連携を図った。
2. 会員のガバナンス発 揮を支援する活動	(1)不祥事対応事例集の作成 ・不祥事の防止に向けたガバナンス発揮を目指し、競技団体のガバナンス体制や不祥事への対応事例等を結集し、意識の改革と改善に向けた手引きとして冊子化。第一弾は競技団体編とし、第二弾は大学編に取り組む。 (2)コンプライアンス研修会の開催 ・大学・競技団体管理者を対象に、不祥事への対処・アクション・SNSの注意事項をテーマにした研修会を開催。
3. 学生の意見を反映 する仕組みづくり	(1)UNIVAS学生部の設立 ・事前研修会を開催、試合配信の実況アナウンサーを学生が担当・8競技155試合 (2)ありもり会議の開催 ・12/3オンライン開催・参加者女子運動部学生 30名・ゲスト(鯉川なつえ氏・室伏由佳氏)
4. 会員とのコミュニ ケーションの深耕	(1)学長懇談会 :コロナ影響を鑑み、開催を断念。 (2)情報共有会 :3回開催(4/7,9・7/6.8・7/21,22) 参加者のべ220名 (3)UNIAVS通信 :月一回配信を継続・購読者491名